

平成 28 年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立花の文化園	指定管理者：住友林業緑化・E-DESIGN 共同企業体	指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日	所管課：環境農林水産部農政室推進課
----------------	-----------------------------	---------------------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言		
				評価 S～C				
I 提案の履行状況に関する項目	(1)花きを収集し、栽培し及び展示する業務	①絶滅危惧種や希少植物の収集	H30	○H30 年度に先立ち、H28 年度は一部園芸品種（ツバキ、ボタン、モミジ）を補植した。	A	A		
			②ゾーニングの変更	〈エントランスゾーン〉 ・プランターによる演出（季節毎に植替）			H28～H30	○老朽化の激しいテラコッタドール及びクジラのオブジェを撤去し、花の少ない夏期の魅力向上のためシロバナサルズベリ、ベニバナスモモ（2本）を植栽した。 ○エントランスゲート外の花壇の芝生を常緑化し、季節ごとに花を植え替えることで、おもてなしの空間演出を行った。 ○エントランスゲートを入った広場にテラコッタ鉢を設置、花による季節ごとの演出を行った。
				・花壇の整備			H30	○H30 年度に先立ち、装飾花壇のデザイン変更を行った。 ○常緑の芝生や低木を加え、花の空間の中に入ることができることで、より花を身近に楽しんでいただけるような花壇とした。
				〈ガーデンゾーン（メイン園路沿い）〉 ・現況撤去、ガーデン新設			毎年	○園路沿いに設置されていたプラスチックプランターを撤去した。 ○プランター撤去後は流れ末端に花壇を新設し、シェードガーデンから花壇をつなげることで、花の演出スペースを増やした。 ○園路沿いに寄せ植えをしたテラコッタプランターやハンギングバスケットを設置し、季節ごとに花の植替えを行った。 ○球根園横の園路沿い花壇の低木を撤去し、季節の花を見ていただけるような花壇を整備した。
				〈標本展示ゾーン〉 ・既存植物の同定			H28, H29	○ボタン園改修に伴い、ボタンの同定と数量確認を行った。（200 種類、400 株→158 種類、312 株） ○ボタン園のシャクヤクの同定と数量確認を行った。（120 種類、300 株→84 種類、180 株） ○ボタン園に設置していたハス鉢の種類を同定（40 種類、80～90 鉢→50 種類、60 鉢）、常設ではなく花の季節に展示することとした。 ○アジサイ園及び園内のアジサイの同定と数量確認を行った。（100 種類、650 株→100 種類、1,000 株） ○梅園及び園内のウメの同定と数量確認を行った。（100 種、300 本→100 種、298 本） ○クリスマスローズの同定と数量確認を行った。（50 種類、10,000 株→原種 19 種 23 品種、園芸品種 72 品種、合計およそ 8,300 株）
				・補充及び展示の整備			H28, H30	○ツバキ、ボタン、クリスマスローズについては、今年度中に補充を予定。
				・サインの設置			H30 (H28 延期)	○H30 年度の実施に向けて、現状の調査及びサイン計画を実施している。 ○ボタン園、ツバキ園に樹名サインを設置している。（実施中）
<p>・年度当初にエントランスゾーン及び装飾花壇のデザインが一新され、新たな指定管理者の下、これから園が変わっていくという印象を与えたことは評価できる。</p> <p>・ただし新たなデザインに対する評価は賛否様々であり、今后来園者の評価をよく伺うとともに、デザインの意図が来園者に伝わるように努め、ブラッシュアップをしてほしい。</p> <p>・花の回廊（メイン園路）沿い及び球根園横の園路沿いの花壇整備により、より多くの花が観賞できるようになったことは高く評価できる。</p> <p>・エントランスゾーン及び花の回廊に多くの寄せ植えが展示されたことは、花が観賞できるほかガーデニングの見本としても有効であり、高く評価できる。</p> <p>・今後の植栽計画の基礎となる園内植物の同定と数量確認に早期に着手し、ボタン、シャクヤク、ハス、アジサイ、ウメ、クリスマスローズの同定と数量確認を進めていることは評価できる。調査結果を基に植栽展示を充実していただくことを期待している。</p> <p>・植栽展示の大幅な改修に対して来園者の評価は賛否様々であるので、来園者やボランティアの意見をよく聴き、また改修の意図を十分に伝え、よりよい展示へと磨き上げてほしい。</p>								

③わかりやすい展示		
〈園内案内サインの統一デザイン化〉 ・ガーデンゾーンの植物サインの新設（花の散歩道の QR コード記載）	H28, H29	○装飾花壇に花の名前を記載したサインを設置。 ○花時計に花の名前を記載したサインを設置。
・園の案内サインの再整備	H29, H31	○H29 年の実施に向けて、サインのデザイン計画を進めている。
・標本展示ゾーンの植物サインの再整備（花の散歩道の QR コード記載）	H28, H30	○ボタン園の改修にともない、植物名を記載した樹名サインを設置。 ○ツバキ園に花の写真を掲載した樹名サインを設置。
④園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施	H29, H31	○樹木医による園内樹木の調査を実施。樹木の状況の把握と園に適応した管理のアドバイスを受けた。 ○調査内容についてはレポートにまとめ、随時管理に反映させている。 ○工房横のダイオウショウが園路に枝を伸ばし、落枝や落果の危険があったため、高所作業車による剪定を行った。 ○レストラン広場のゴールドクレストが腐朽し、倒木の危険があったため伐採した。 ○芝生広場のエントランス側にあるサワグルミによりエントランスが陰になっていたため、剪定を行った。 ○モミジ谷の低木について過密気味との調査結果を受け、強剪定を実施した。
⑤個別植栽展示エリアの改修、拡張、充実状況		
〈装飾花壇〉 ・花壇の勾配変更	H29	○勾配変更についてはH28 年度実施なし。 ○一番後のエリアを芝生ゾーンとし、芝生や白玉砂利を加えて、来園者が花壇に入れるデザインに変更した。
・背景樹木の植栽	H29 以降 (H28 延期)	H28 年度実施なし
〈花時計〉 ・勾配変更	H29	○H29 年度の実施に先駆けて、デザインを変更した。 ○花時計奥のゴールドクレストを伐採し、温室の内部が屋外から見れるようにした。 ○上記伐採により、温室に太陽光が入るようになり乾燥温室のサボテン類の成長が改善された。
〈バラ園〉 ・アーチ及びトレリスの新設	H30, H31	○H28 年度実施なし
・株のボリュームを増加する管理の実施	随時	○管理の質の向上を目指してバラ育種の専門家を招き、当園に適した適正管理の指導を受けている。 ○品種数を保持しながら株を間引くことで、株のボリュームを大きくする管理を行っている。 ○間引き株については、園内に移植予定。
〈梅園〉 ・間引き	H29, H30	○H28 年度花後に剪定及び間引き予定。

・低樹高化のための切り戻し	H29, H30	○H28年4月に花後、切り戻しを実施した。
〈香りの丘〉 ・香りのある植物の補植	H30～H32	○H30年度の補植に向け、既存樹木の剪定及び下草等の整理を行った。
〈大温室〉 ・温室植物の補植	H29, H31	○H29年度の補植に向け、既存樹木の剪定及び一部展示エリアの変更を実施した。 ○温室エントランスを入口にふさわしい空間とするため、洋ランの展示ゾーンとし、花の咲いている株を順次入れ替えて展示している。 ○洋ランの展示においては、河内長野愛蘭会の会員の協力を得て、花の咲いた株を預かり受け、展示させていただいている。それにより、会員の方の日頃の成果を発表する場を広げることに協力している。 ○洋ランの展示ゾーンには各種アンズリウムを展示し、順次熱帯花木の補植を予定している。 ○お客様に喜んでいただけるよう、ポポーなどの食べられる植物を補植し、育成中である。 ○ジンジャーやガランガ、コロカシアなどの熱帯、亜熱帯地方に生育する植物を補植した。
・ベンチの設置	H31	H28年度実施なし
・文化を紹介するサインの設置	H29	H28年度実施なし
〈もみじ谷〉 ・園芸品種の導入	H30	○H30年度の導入にむけてもみじ谷の改修を実施した。 ○老朽化した東屋を撤去し、イロハモミジを補植した。 ○お客様に歩いていただきやすくするため、もみじ谷の舗装を改修した。 ○もみじの紅葉を背景に撮影いただけるような写真スポットを新設した。
・樹名札の設置	H31	H28年度実施なし
〈クレマチスガーデン〉 ・支柱の刷新	H29, H30	H28年度実施なし
〈コミュニティガーデン〉 ・ガーデンを整備し、カフェの設置	H30	H28年度実施なし
〈球根園〉 ・キッチンガーデンを新設	H29	○H29年度の新設にむけて、花後に球根を堀上げ、同定を随時実施している。
・植物を活用した講習会の実施	H30～H32	H28年度実施なし
〈ハーブ園〉 ・ハーブの補植	H30	○園内で生産したハーブ苗を随時補植及び展示している。
・講習会の実施	H31, H32	H28年度実施なし
〈芝生広場〉 ・桜の補植	H30	○H28年度末に補植予定。

I 提案の履行状況に関する項目	(3) 花きに関する講習会、展示会及び品評会等のため、花の文化園の施設を府民の利用に供する業務	①申し込み方法の簡略化			A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおりホームページ上で施設に関する情報や申込フォーム、空室状況が掲載されていることは評価できる。 ・屋外スペースへのイベント誘致についても取組が進んでおり、今後の利用増に期待したい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・申し込みフォーム及び空室情報を掲載したホームページの開設	H28	○従来の電話や窓口での受付に加え、ホームページに貸施設の案内及び申し込みフォームを設置した。また、イベントページにおいて空き室が確認できるようにした。				
		・登録制度の新設（窓口及びFAXでも引き続き受付）		○イベントホール等貸し施設の利用者については代表者の連絡先等をまとめ、次年度以降案内をできるようにしている。 ○施設の利用申し込みについては、HP上でも募集を告知し、新たな利用者の獲得を目指している。				
		②対象施設のPR						
	・施設の写真を掲載したホームページの開設 (施設利用の提案及び展示アドバイスは随時)	H28	○イベントホールをはじめとした貸施設の紹介をホームページ上に掲載している。 ○施設利用申請者と打ち合わせを行い、展示のみではなくワークショップなどの体験プログラムの実施を提案、事前告知や園内放送による園からもバックアップも実施している。					
	③屋外スペースの積極的な活用			A	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者以外からの相談受付体制は提案どおり整備されたが、図書室の再整備が提案どおりなされていないことは残念。 ・現状では利用者がほとんどおらず、有効活用できていない場所なので、予算を確保の上対応されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、図書室の再整備については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。 ・しかし、施設安全改修関係の先行投資等、優先順位をつけて管理運営を行った結果、実施状況に変更があったことはやむを得ないと評価する。 	
	・芝生広場及びイベント広場の利用誘致（広報誌に掲載等）	毎年	○芝生広場の常緑化にともない、芝生広場を活用した持ち込みイベントの誘致を行っている。 ○芝生の常緑化をPRするため、小学生を対象としたフットサル大会を実施。 ○H29年4月には外部団体によるフラダンスのイベントの実施が決まっている。					
	(4) 花きに関する相談及び指導を行う業務	①相談所の設置			A	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者以外からの相談受付体制は提案どおり整備されたが、図書室の再整備が提案どおりなされていないことは残念。 ・現状では利用者がほとんどおらず、有効活用できていない場所なので、予算を確保の上対応されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、図書室の再整備については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。 ・しかし、施設安全改修関係の先行投資等、優先順位をつけて管理運営を行った結果、実施状況に変更があったことはやむを得ないと評価する。
		・図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）	H28	○予算都合により次年度以降に延期				
		・書籍紹介、コピーサービス等サービスの充実	H29以降 (H28延期)	H28年度実施なし				
②来園者以外からの相談受付								
・ホームページに問い合わせフォームを設置		H28, H30, H32	○イベント申し込みや問い合わせに対応した問い合わせフォームをホームページに設置している。 ○ホームページについては、お客様からの意見も反映し、随時更新を予定している。					
・よくある問い合わせをホームページに掲載		H28	○ペット連れの来園や身障者用トイレの案内などのよくある質問をホームページに掲載している。					
③出張花の文化園			A	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者以外からの相談受付体制は提案どおり整備されたが、図書室の再整備が提案どおりなされていないことは残念。 ・現状では利用者がほとんどおらず、有効活用できていない場所なので、予算を確保の上対応されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、図書室の再整備については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。 ・しかし、施設安全改修関係の先行投資等、優先順位をつけて管理運営を行った結果、実施状況に変更があったことはやむを得ないと評価する。 		
・車両の整備	H30	H28年度実施なし						
・園外活動の実施	H30～H32	○10/15(土)に中之島公園で実施された「くうそうの島」というイベントに出店者として「花のかんむりづくり」を出店した。 ○学校ガーデニングを引き続き実施。園内で育成したパンジーやビオラを地域の小中学校(21校)に提供し、植え方の指導を行った。当事業については、NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネットと協力して行っている。						

I 提案の履行状況に関する項目	(5) 花きに関する情報の収集及び提供を行う業務	①インターネット上での情報公開			A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり広報誌を刷新したことは評価できる。 ・今後も来園者の反応や広報の効果を検証し、内容の向上に努められたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・Web 花図鑑「花の散歩道」の充実 	H29, H32	H28 年度実施なし				
		②広報誌の刷新						
		<ul style="list-style-type: none"> ・新広報誌の作成 (Letter from flowers) 	H28	○これまで季節ごとにイベントを主に掲載したA4 チラシと花情報を主に掲載したA3 チラシを作成していたが、A3 チラシに統一し刷新した。				
	(6) 花の文化園の維持及び補修に関する業務	③情報収集のためのネットワーク形成			S	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より危険箇所の把握と改善に努め、専門家の意見も取り入れつつ園内各所の改修・清掃に最優先に取り組んだことは高く評価できる。 ・レストランへのキッズスペース設置により子ども連れの来園者の利便性が向上し、また植物に関する雑貨等の販売は花の文化園のレストランらしさを演出することにつながっており、高く評価できる。 ・清掃も行き届いており、評価できる。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目以上に実施されたと評価できる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本植物園協会への継続加入 	毎年	○継続して加入している。今年度は4/22に実施された第51回総会及び10/20に実施された第二分野（園、国立園）運営会議に参加した。 ○日本植物園協会以外にもネットワークを広げるため、第3回西日本植物多様性保全拠点園交流会に参加した。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・海外花き関係団体への加入 	H29～H32	H28 年度実施なし				
	(6) 花の文化園の維持及び補修に関する業務	①清掃及び施設点検の徹底			S	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より危険箇所の把握と改善に努め、専門家の意見も取り入れつつ園内各所の改修・清掃に最優先に取り組んだことは高く評価できる。 ・レストランへのキッズスペース設置により子ども連れの来園者の利便性が向上し、また植物に関する雑貨等の販売は花の文化園のレストランらしさを演出することにつながっており、高く評価できる。 ・清掃も行き届いており、評価できる。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目以上に実施されたと評価できる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃チェックリストの作成 	H28	○清掃チェックリストを作成し、日常の清掃を徹底するとともに、清掃時に安全点検も行うこととしている。 ○月に2回嘱託職員及び植栽担当のパート職員による全体清掃を実施。日常清掃で実施できない部分の清掃を行っている。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全基準の作成及び点検実施 	毎年	○園全体の危険箇所について、舗装・安全柵、危険樹木、転倒危険性、その他に分類してリストアップを行い、随時改修及び清掃を実施した。 ○遊歩道の安全柵が低く、転落の危険性が高かったため、およそ300mにわたり、木製の安全柵を新設した。 ○もみじの紅葉に合わせ、お客様に安全に紅葉を楽しんでいただくために舗装の不陸及び階段部を改修した。 ○落枝や倒木の危険が高い樹木や歩行の障害になる枝の剪定及び伐採を9か所実施した。 ○苔等により滑りやすく、危険性のある床面を2か所清掃除去した。 ○エントランスのテラコッタドール及びクジラのオブジェが老朽化し、倒壊の危険があったため撤去した。 ○消防計画書を作成し、自主検査項目を作成。年2回の消防訓練時に点検を行っている。 ○大阪府の建築物点検マニュアルを基に、ISO14000に展開し、年4回遵守状況を確認している。 ○植栽エリアの点検箇所については、樹木医による診断により樹木の健康度の確認を実施した。				
②各種施設の内装補修								
<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙の張り替え等軽微な補修 		毎年	○Honeysuckle caféに本棚を設置。花に関する書籍の開架や雑貨等の販売を行っている。 ○Honeysuckle caféにキッズスペースを設け、おもちゃやこども用のテーブル等を設置することで、子連れのお客様にくつろいで過ごしていただけるようなカフェとした。 ○Garden shopの棚等を季節や商品の内容によって塗りなおす等を行っている。					
(6) 花の文化園の維持及び補修に関する業務	③老朽化を目立たなくする演出			S	<ul style="list-style-type: none"> ・エスパリエ等の設置 	H29, H31	○Honeysuckle caféの壁面に店名にもなっているスイカズラを植栽し、誘引している。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・エスパリエ等の設置 	H29, H31	○Honeysuckle caféの壁面に店名にもなっているスイカズラを植栽し、誘引している。					

I 提案の履行状況に関する項目	(7) 花きに関するボランティアの育成に関する業務	①花きの専門知識の継続的教育			A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度前半はボランティアとの連携が十分ではなかったが、連携体制を強化した結果、これまでよりボランティアの参画度合いが強まったことは高く評価できる。 ・提案に基づき、今後も植栽展示・イベント・運営全般について様々な変化が伴うため、ボランティアとの意思疎通を密にし、連携体制を強化されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、ほぼ提案に沿って実施されたと評価できる。 ・引き続きボランティアとの連携体制を強化されたい。
		・ボランティア活動の場の提供及び教育	毎年	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動は毎週火・木・土に実施。園の職員が作業指示及び随時植物管理の教育を行っている。 ○NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネットの理事会と月に1度会議を行い、ボランティア会員の要望を組み込んだ連携体制及び日々の活動を実施している。 ○園主催のイベントである夏休み子ども祭りにおいて、ボランティア会員によるクラフトづくりのブースを実施してもらうなど、協力して園の運営を実施している。 				
		・ボランティア養成講座の実施		○全15回のボランティア養成講座を実施。52名が参加している。				
		②花の栽培以外のプログラムの充実						
		・ボランティアを対象とした各種講習会の実施	毎年	○バラ育種の専門家を招いたバラ講習会やサラセニアの専門家を招いた講習会、自然かんさつ会などの講習会についてはボランティア会員に優先的に案内を実施している。				
		・他の園の活動を学ぶバスツアーの実施	H29～32	H28年度実施なし				
		・ボランティアの活動の支援	随時	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月NPO法人フルル花と地域の応援ネットの理事会と会議を行い、ボランティア会員の方の要望を汲んだ日頃の活動内容の改善や今後の体制づくりについて、検討している。 ○ボランティア会員のボランティア活動日の入園は無料としている。 ○ボランティア活動における交通費の補助金を提供している。 				
	(8) その他施設の管理運営に関する業務（売店、レストラン含む）	①売店			A	<ul style="list-style-type: none"> ・売店、レストラン、大温室休憩コーナーについていずれも提案に沿った取組がなされており評価できる。 ・レストランのメニューについては、年度当初より随時改善し利用者の満足度向上に努めていることは評価できる。今後も利用者の評価をよく聴き、より満足いただけるメニューの提供を目指していただきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・園の花と連動した商品の充実	H28	<ul style="list-style-type: none"> ○売店横の花壇に売店で販売している花苗を植栽し、商品の利用イメージが伝わるような展示を行っている。 ○園内で生産した植物の販売を行っている。 				
		・寄せ植えの販売		○花苗単体ではなく、季節の花や季節の行事（母の日、クリスマスなど）に合わせた寄せ植えを作り、販売している。				
②レストラン								
・プロデューサーを起用した新店舗の検討		H28	<ul style="list-style-type: none"> ○プロデューサーによるアドバイスを受け、サンドイッチやパスタといった洋風メニューに変更。植物園らしさを演出するため、エディブルフラワーを食材に使用している。 ○プロデューサーによる指導では、現場の体制を加味し、メニュー構成の提案や調理指導、衛生指導を受けた。 ○夏のカレーフェア（キッズメニュー含めカレー4種）やハロウィンのお菓子プレゼント、セルフソフトクリームなど、カフェ単体でのキャンペーンも実施している。 ○お客様の要望を受けて、ランチプレートやうどんなどの和風メニューも追加した。 ○子連れの家族向けに、キッズスペースを設け、子どもたちが飽きずに楽しめるような工夫も行っている。 					
・温室カフェテリアの整備		H28	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み期間の土日、トロピカルフルーツフェアを実施。熱帯果実の盛り合わせやトロピカルジュースを販売した。 ○トロピカルフルーツフェアでは、熱帯果実についてのパネル展示も実施し、フラダンスのコンサートも実施した。 					
・ケータリングカーの誘致	毎年	○夏休み子ども祭りの際、ケータリングカー3台を誘致。園内のカフェだけではなく、イベント的に楽しんでいただくことができた。						

I 提案の 履行状況 に関する 項目		・休憩所（ベンチ）の整備	H28, H29	○既存のベンチの磨き及び塗装といった修繕を実施している。				
		③その他施設						
		・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29～32	○夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。				
		・休憩室にベビールームを設置	H29 以降 (H28 延期)	H28 年度実施なし				
	(9) 周辺施設と連携したイベント開催等による地域活性化にかかわる業務	①木根館との連携				S	S	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設との連携強化及び地域活性化に向けた本格的な取組は来年度以降となるが、周辺施設との合同イベントを開催したことや、くろまろの郷駐車場から花の文化園へ続く道路周辺の美観改修について中心的な役割を果たしていることは評価できる。 ・くろまろの郷利用者へのPRを強化するためにも、来年度以降、くろまろの郷への花による装飾の提供に取り組みたい。
		・削りくず等のコンポスト化	H29 以降 (H28 延期)	H28 年度実施なし				
		・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	○夏休み子ども祭りの際に、同日にワークショップを実施していただくよう要請。イベント全体の充実を図った。				
		②くろまろの郷、ふるさと歴史資料館との連携						
		・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～H32	○月に1度のくろまろの郷施設連携会議に参加。くろまろの郷の周年イベントにおけるスタンプラリーの対象施設として協力した。 ○くろまろの郷が実施するイベントにおいて、パイプ椅子等資材の貸し出し及びくろまろ館の催しのポスター掲示、木根館の求人チラシの掲示等に協力することで、地域施設との連携体制を強化している。 ○河内長野市が実施するロゲイニング大会の会場として協力し、当日ロゲイニング参加者は入場無料とした。				
		・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29～H32	○くろまろの郷施設連携会議において、第一駐車場法面の美観改修提案を主導。近隣3施設の看板デザインを無償で提案した。				
	・花見ツアーの開催	H31～32	H28 年度実施なし					
	(10) 高齢者、障がい者への利用援助	・貸し出し用車椅子の設置	H28	○前年度に引き続き、車いすの貸し出しを行った。 ○子供用のベビーカーを5台新設した。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり車いすの貸出及びベビーカーの新設に取り組んだことは評価できる。 ・来園者の要望や意見、職員の気付きについて、職員間で十分に情報共有し、園の魅力を高め来園者の満足度を高めるために活かしていただきたい。 ・また来園者の要望や意見については、対応状況について来園者に公表することも検討されたい。 	
		・レイズドベッドの整備およびイベント実施	H30～32	H28 年度実施なし				
		・貸し出し用音声案内の設置	H29	H28 年度実施なし				
		・ヒヤリハット事例等の収集および改善	随時	○お客様ヒアリングシート及び気づきシートを作成し、お客様からお聞きした要望やご意見をとりまとめ、随時改善に努めている。 ○気づきシートでは、職員自身が「気づき」を大切にするよう、指導している。				

I 提案の履行状況に関する項目	(11) 府施策との整合等	①府が主催、共催、後援する行事・イベントへの協力	○府政学習会に対する場所の提供及び、無料入園券の提供を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり府施策に協力いただけたことは評価できる。 ・府内花き生産振興については、生産者のほ場確認や売店販売用の花苗の仕入れなど、これまでにない取組により府内花き生産振興について積極的に支援されていることは高く評価できる。 ・来園者数については、公用除く来園者数 70,132 人 (昨年比 32%減)、うちパスポート提示・引換含む有料入園者 50,358 人 (同 6%減)、障がい者 7,943 人 (同 24%減)、幼児・小中学生 8,515 人 (同 24%減)、その他無料入園者 3,316 人 (同 89%減) となっている。 ・このうち無料開放デーの開催回数及び開催時期変更の影響が大きいその他無料入園者は別にしても、有料入園者数、障がい者、幼児・小中学生が減少していることは課題であり、危機感を持って改善に取り組んでいただきたい。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、来園者数については、昨年比に比べ減少していることは課題であり、改善が必要と考える。 ・来園者の満足度向上や集客を図るため、デザインやゾーニングの変更、改修工事の実施等を積極的に取り組んでいることは評価できるが、今後は、PR 活動を一層強化するとともに、多様なイベントを実施する等、来園者数の増加に向けた改善に取り組んでいただきたい。
		②府内花き生産振興支援	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪府花き連盟より花苗を購入。納品前に事前に圃場での確認を行い、直接生産者と交流することで納品日等の調整を実施している。 ○圃場点検の際に生産苗を確認し、別途購入手配を行っている。 ○園内の植栽展示と販売を連携させることに努め、植栽用以外にも売店販売用の花苗を仕入れている。 				
		③教育、福祉への協力	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ガーデニング事業において 21 の小中学校へ花苗の提供と植えつけの指導を実施。 ○小中学校の生徒による職場体験の受け入れを実施。全 8 校 25 名を受け入れ、花苗の植替えや清掃などの体験をしていただいている。 ○職場体験においては、3 校 3 名の新任先生方の受け入れも実施した。 ○前年度に引き続き、こさえたんフェアを春と秋に実施。日程の都合で各 1 施設に参加いただいた。 				
		④就職困難者等の雇用	<ul style="list-style-type: none"> ○支援センターを介し、希望者の見学会を 2 度実施し、計 10 名の見学者を受け入れたが、雇用には至っていない。 ○現在希望者を引き続き募り、2 名の新規採用に向けて募集を行っている。 				
		⑤利用者満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ○春と秋にアンケートを実施。各回 500 名の方に協力をいただいた。 ○アンケートについては河内長野市が難波駅で実施している「河内長野遊びと暮らしフェア」に 3 回参加し、街頭アンケートも実施した。 				
		⑥利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ○H28 年度の総入園者数は 73,403 人 (1 月末) であり、有料入園者数は 50,358 人 (1 月末) である。 ○有料入園者数は前年対比 93.9%と若干の減少が見られるため、年度末に向けてイベントの実施及び広報の充実を図っている。(前年度有料入園者数 53,617 人 (1 月末)) ○今年度は広報をホームページなどのインターネット中心としたことも理由の一つと考えられるため、市の広報誌をはじめ外部媒体への情報提供を積極的に実施するよう努めている。 ○障がい者の入園者数減少については、レストランの団体予約の未実施による影響が考えられるため、来年度以降は団体予約の受け入れ及び積極的な誘致活動を行うよう努める。 ○幼児・小中学生の入園者数減少については、アンケート等から遊具等遊び場の不足が理由の一つと考えられる。今年度より芝生の常緑化に努め、子供が安心して遊べる場所づくりに努めている。 				

IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1) 施設・設備の改修	①平等利用を確保するための施設整備			A	・キッズスペースの設置場所は変更になったものの提案どおりの取組がなされており、評価できる。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・園全体の舗装再整備	H29～H32	○先行してモミジ谷の舗装の改修を行った。改修に際しては、修景の視点で地比類の植栽なども行うことで、日本庭園のような雰囲気も楽しんでいただけるようになっている。				
		・車椅子利用者が安全通行可能な園路に路面サインを設置	H30～H32	H28 年度実施なし				
		・エントランスゲート近くに車寄せを新設	H31	H28 年度実施なし				
		・男女トイレに子供用いす及びおむつ替えスペースを設置	H31～H32	H28 年度実施なし				
		・センター棟授乳室にキッズスペースを併設	H28	○カフェ内にキッズスペースを設け、子供たちが楽しく過ごせるような場としている。				
		・園内サイン、パンフレットの多言語化	H29, H30	H28 年度実施なし				
		・園内各所にベンチやパーゴラを設置	H29, H31 (H28 延期)	○H28 年度は老朽化したものの撤去や修繕可能なものの修繕を実施している。モミジ谷のパーゴラは足元が腐朽して危険であったため、撤去した。また、園内のベンチは木製部の磨きと再塗装を行っている。				
		・施設のバリアフリー化(階段のスロープ化、手すり設置)	H29, H31	○遊歩道に手すりを新設。幅広い年代の方が歩いていただくことができるようになっている。				
		・社会福祉施設の職員を定期的に招いて改善点の指摘を受け入れ、施設を再整備)	H29～H32	H28 年度実施なし				
	(2) その他 創意工夫	②エントランスゾーンの改修整備			S	・イルミネーションツリーは園外からも目立ち、よいPRとなっており評価できる。	S	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目以上に実施されたと評価できる
・外からも装飾花壇を臨むことができるように見通しを改善		H28	○エントランスのテラコッタドールを撤去し、サルスベリを植栽することで、ゲート外から装飾花壇が見えるように改修した。					
・園内エントランス広場の舗装改修		H30	H28 年度実施なし					
・シンボルとなるようなデザインを設置		H29 以降 (H28 延期)	H28 年度実施なし					
・装飾花壇の勾配変更		H29	○H29 年度の改修に先立ち、デザインの変更を行っている。芝生や低木を取り入れ、より身近で花を見ていただくことができるようにした。 ○一斉植替えを行わず、花期の終わったものから順次植替えを行うことで、植替え後に来園しても楽しんでいただける花壇としている。					
・売店にカフェを併設し、コミュニティガーデンに座席を設置	H30	H28 年度実施なし						
(2) その他 創意工夫	①提案に基づく業務内容以外の創意工夫・自主事業の取り組み	毎年	○奥河内イルミネージュにおいて、28mのセンペルセコイアのイルミネーションツリーを設置。通常の園の客層とは異なる層に花の文化園を知っていただくきっかけとした。	S	・イルミネーションツリーは園外からも目立ち、よいPRとなっており評価できる。	S	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目以上に実施されたと評価できる	

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①施設や植栽整備に利益の再投資を行い、「経営」視点の管理運営	○初年度は施設の安全を確保し、施設コンセプトに見合う改修、サービスに先行投資している。同時に集客に向けた仕込み（コンテンツ、宣伝）を行い3年目からの経営回復を図る。 ○植栽管理及び改修の高質化及び作業の安全性の向上のため、卸価格での取引をしている専門業者へ外部委託をしている。 ○改修、生産原価を卸価格に近い金額で実施することで経費の圧縮を実現している。 ○専門家を招きバラの管理指導を受け、同時にイベントとして来園者に向けて講習を実施することで費用の削減と管理の高質化を実現した。 ○業務分担の見直しを行い、職員間の情報共有徹底に努めることで、作業の無駄を省いた運営に努めている。	S	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全確保に向けた改修、樹木の整枝せん定、植栽展示の整理改修など、これまで十分でなかった点に取り組み、来園者満足度向上の基礎づくりを着実に進めていることは高く評価できる。 入園券の新たな発券システム導入についても、今後サービス向上につながるものと期待している。 共同企業体を構成する2法人の経営状況は安定しており、今後も安定的な指定管理業務の遂行が期待できる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		②最新技術の活用や無駄を省いた効率的な管理運営による経費削減	○入園券の発券システムを新たに導入し、発券と同時に入園者の年齢や性別の分類集計を可能とした。今後集計データを活用し、運営改善を図る。 ○園内生産の植物を売店で販売することにより、仕入経費の一部削減に努めている。				
		③安定的な運営が可能となる財政的基盤（法人の経営状況）	○共同企業体のいずれの法人においても、安定した経営を継続している。				
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	○年度当初、管理職員5名、現場雇用職員職員11名体制で管理運営を始めたが、年度途中で4名の退職者が発生した。そのため1名の嘱託職員を雇用し、パート職員（常勤同等の勤務時間）を3名雇用した。 ○パート職員については勤務時間の適性をはかりつつ、植栽管理16名（うち2名は前述のパート職員）、レストラン8名、券売、売店6名、管理清掃5名（うち1名は前述のパート職員）、計35名体制で業務にあたっている。 ○植栽管理についてはエリア毎に主・副担当者の2名を配置、共同して作業にあたることとしている。また、月に2回のミーティングを実施し、情報共有を図っている。 ○企画担当はパート職員を含めた4名体制で、広報・イベント等企画を実施。見頃の花の年4回の広報誌他の広報媒体の作成、ホームページ等の更新、イベントの企画・運営、イベントホール等の使用誘致及び調整を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 共同企業体を構成する2法人より派遣された職員、前指定管理者より雇用を引き継いだ職員、新たに採用した職員、それにボランティアが力を合わせて運営する必要があるが、園の運営に対する認識は各職員の出身の違いにより様々である。 職員間及び指定管理者とボランティアの間の意思疎通及び運営方針の共有についてはまだ発展途上であると評価しており、引き続き運営体制の強化に努められたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、ほぼ提案に沿って実施されたと評価できる。 職員間及び指定管理者とボランティアとの意思疎通を密にし、安定的な運営に向け、一体となって取り組まれたい。
		②職員の指導育成体制は十分か	○住友林業緑化の安全大会、ISO研修等職員教育の場に嘱託職員が参加。 ○毎朝の朝礼において、是正事項の指導を実施している。 ○職員が常駐している各部屋に住友林業グループの環境方針を掲げ、定期的に確認を促している。 ○職員自らが改善点に気づき、働きかけることができるよう「気づきシート」の作成を実施。管理者が回答を記入したものを全職員に回覧している。 ○ガーデンチーム及びプランニングチームは毎月2回程度の定期ミーティングを行い、職員の意識共有を図っている。				